

実施報告書

令和7年11月 山口県教育庁高校教育課

1 実施日

令和7年11月1日(土)

2 参加チーム

12校24チーム 144人 (1チーム6人による団体戦)

県立岩国高等学校 (1チーム) 県立徳山高等学校 (3チーム) 県立山口高等学校 (3チーム) (3チーム) 県立宇部高等学校 県立小野田高等学校 (1チーム) 県立厚狭明進高等学校 (1チーム) 県立下関西高等学校 (3チーム) 県立萩高等学校 $(2\mathcal{F}-\Delta)$ 県立下関中等教育学校(2チーム) $(1 \mathcal{F} - \Delta)$ 宇部工業高等専門学校 誠英高等学校 (2チーム) 慶進高等学校 $(2\mathcal{F}-\Delta)$

3 成績

第1位 県立徳山高等学校 Aチーム ※ 2年連続6度目の全国大会出場

第2位 県立山口高等学校 Aチーム 第3位 県立下関西高等学校 Cチーム







県立徳山高等学校Aチーム

県立山口高等学校Aチーム

県立下関西高等学校Cチーム

※ 県立徳山高等学校は、令和8年3月20日~23日の4日間、茨城県で開催される第 15回「科学の甲子園」全国大会に県代表として出場する。

4 競技内容

筆記競技及び実技競技で競う。

(1)筆記競技

ア 競技時間

90分

イ 内 容

チーム(6人)で知識・技能を活用する問題、思考力を問う問題(物理・化学・生物・地学・数学・情報の6分野から各1問)に取り組む。

(2) 実技競技

① 実験競技

ア 競技時間

60分

イ 内 容

ボイルの法則に関する実験を行い、結果に対する的確な判断と考察等、科学の方法の観点から総合的に評価する。

② 総合競技

ア 競技時間

60分

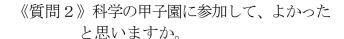
イ 内 容

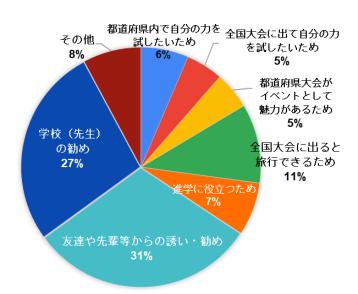
与えられた材料を用いて製作物を作り、製作物を用いたコンテストを行う。規定に基づいて得られる得点を競う。

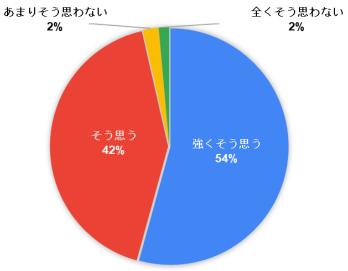
5 生徒アンケートの結果

(回答 140 人/参加者 144 人)

《質問1》科学の甲子園に参加しようと思った 理由は何ですか。

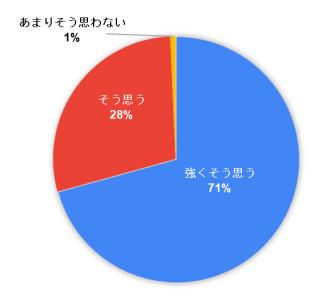


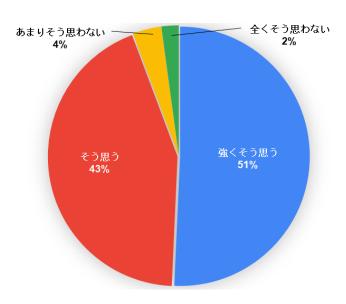




《質問3》科学の甲子園に参加して、チームで 取り組むことは楽しいと思いましたか。

《質問4》機会があれば後輩にも参加させたい と思いましたか。



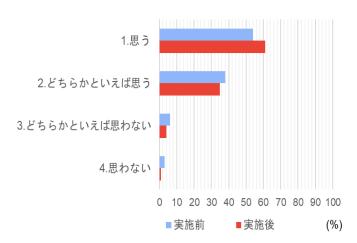




科学の甲子園に参加しようと思った動機は様々であるが、大多数の生徒が「参加してよかった」「チームで取り組むことが楽しい」と感じており、本大会への参加を通じて主体的・協働的に課題解決に取り組む態度の涵養につながったと考えられる。

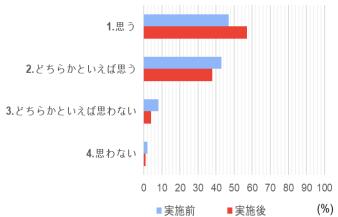
《質問5》科学の甲子園への参加前と参加後の気持ちはどうでしたか。

① 科学が好きだと思いますか。

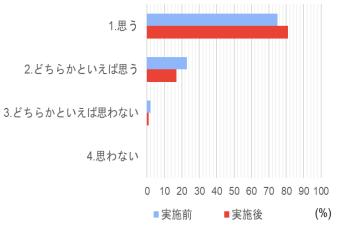


③ 理科・数学を勉強することは、将来の自分のために重要だと思いますか。

② 科学技術に関する学習意欲は高いと思いますか。



④ 今後、理系の進路を選択しようと思いますか



1.思う
2.どちらかといえば思う
3.どちらかといえば思わない
4.思わない
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
■実施前
■実施後 (%)

⑤ 科学技術を必要とする職業に就きたいと思いますか。



各項目において、大会参加前後で生徒の気持ちに大きな変容は見られなかったが、全項目において「思う」と回答した割合が上昇していることから、本大会は、科学技術、理科・数学に対する興味・関心を高める効果があったと考えられる。

《質問 6 》大会に参加して、よかった点や今後変えたらよいと思う点があれば、自由に書いてください。

アよかった点

を生かし、分担
き、貴重な経験
面白かった。
ができた。
かった。

イ 今後変えたらよいと思う点

1	筆記競技・総合競技の難易度が高く感じた。もう少し簡易なものにすると良いと感じた。
2	参加可能人数を増加させて欲しい。
3	県大会の過去問を公開して欲しい。
4	(総合競技について) 準備期間をもっと長くして欲しい。
5	(総合競技について) ルールをもっと分かりやすくして欲しい。
6	総合競技について、事前の情報不足だと思った。

6 大会の様子















